

よのうづ

佐伯市 米水津

宮野浦地区 むらの覚悟委員会



# 米水津(よのうづ)地区の位置



# 米水津地区の地形(航空写真)



# 宮城県石巻市 おながわ 女川地区の航空写真



【女川地区】 女川病院からの風景  
海岸近くにあったビル(5階建て)が津波によって倒壊  
津波の高さ 約23~25m (撮影:事務局 増井)

宮野浦地区は、人口約400人に対して、**水産加工会社(16社)**に従事する人が約500人もいます。



**(工場内の風景)**

中国から来た  
若い研修生も  
たくさんいます。

**(現在約50名)**

発災後、自衛隊や警察、消防からの  
救助が来るまでの **約3～5日間、**  
**少しでも多くの人が生きのびるために**  
**何か対策をしておかなければ、**  
**地区が全滅してしまう・・・**



このようなことが、きっかけで  
NPO法人からのご協力もあり

宮野浦地区の  
「地震・津波に対する防災計画」



「むらの覚悟」計画  
の話し合いがスタートしました。

# **「むらの覚悟」 名称の意味**

- 1 地震・津波は必ず来る！  
その覚悟しておこう！**
- 2 絶対に生き延びる！  
そのための覚悟をしておこう！**



平成23年10月

「むらの覚悟」委員会 活動開始

# 「むらの覚悟」委員会 会議風景



定着化を図るため

毎月 第1木曜日 午後7時30分開始



# （その後の主な活動） 平成24年度～

- ① 2次避難所の建設
- ② 危険箇所の検証及び避難路の整備
- ③ 地区民の協力による備蓄品の収集活動
- ④ 水源の確保
- ⑤ 大津波を想定した独自の避難訓練
- ⑥ 児童・生徒に対する防災学習の実施
- ⑦ 高齢者の避難を高める活動
- ⑧ 冊子「むらの覚悟」第2版の発行
- ⑨ 女性役員を増やす取り組み
- ⑩ 防災意識を絶やさない取り組み など

(2次避難所の建設)  
防災のシンボルとして  
輸出用コンテナによる  
防災備蓄倉庫を設置



平成24年9月末 改修完了



# 現在の状況

1棟は災害対策本部用に改修



(宮崎日日新聞の取材の様子)

# 地区民たちによる避難所づくり (ワイヤー取付け作業風景)



# (活用された様子) 平成24年11月11日 避難訓練時



# 広瀬知事が避難訓練に視察



# (地区民の協力による備蓄品の収集活動)



平成24年10月下旬と、平成25年2月下旬に  
地区全世帯に備蓄品の提供をお願いしました。

各家庭に眠っていた鍋やバケツ類が多く  
集まりました





コンテナ(備蓄倉庫)内の状況

# 防寒用の衣類を段ボールに収納しています

上着

(防寒用)



小松商店

大分県南... 津村宮野浦  
TEL 0977-7001

上着

(防寒用)



小松商店

大分県南... 津村宮野浦  
TEL 0977-7001

上着

(防寒用)



小松商店

大分県南... 津村宮野浦  
TEL 0977-7001

上着

(防寒用)



小松商店

大分県南... 津村宮野浦  
TEL 0977-7001

上着

(防寒用)



小松商店

大分県南... 津村宮野浦  
TEL 0977-7001

ズボン

品名	
入目	
人数	
他口	

品名	
入目	
人数	
他口	

品名	
入目	
人数	
他口	

# 現在の2次避難所 全体図



標高：約20m 面積：500坪  
土地名義：佐伯市からの無償貸与  
土地造成：工事排土による「かさ上げ」



# (児童・生徒に対する防災学習の実施)



9/27(土)~  
9/28(日)

小学生による  
避難所宿泊体験実施中  
(むらの覚悟委員会)

会場

平成26年9月27日(土)

第2回目 避難所宿泊体験 10名

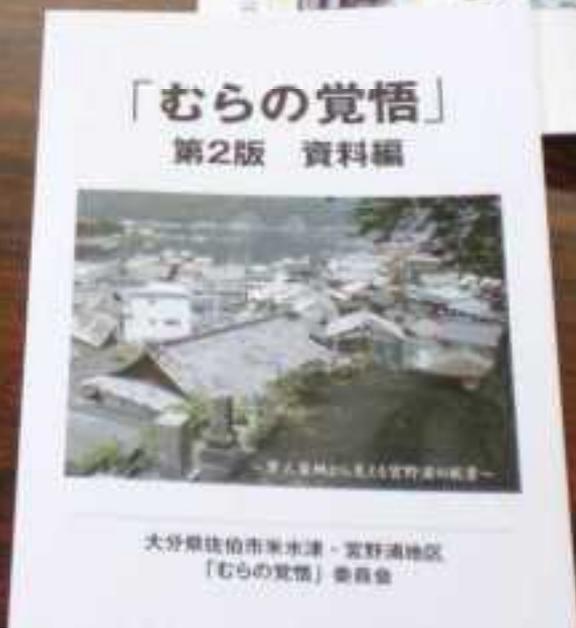
避難所体験室



地元の小学生を避難所にて宿泊体験



炊き出し訓練の様子



「むらの覚悟」第2版の発刊

日本文理大学の協力で「3D画像」による  
わかりやすい予想図も掲載しています。



宮野浦地区の津波浸水予想図(11mライン)

# (高齢者の避難を高める活動)



平成25年4月20日  
ノルディックウォーク 講習

2013.04.20



2013 04 20

**用具を使用して散歩する高齢者が増えました！**

**（防災意識を絶やさない取り組み）**



**地区外の人でも、避難所がわかるように  
「のぼり旗」を設置（全ての1次避難所）**

# 小中学生から募集した「津波標語」による案内標識の設置



# 1次避難所に向かう入り口付近に設置しています



# 最後に・・・

ここまで、取り組めたのは、地元の役員をはじめ、多くの方からのご協力なくしては到底実現できませんでした・・・。





**その感謝の気持ちを忘れずに、今後も皆様にさらなる英知と行動力をいただきながら、次世代を担う子供達のためにも、地道に継続して活動していきたいと考えています。**